

下記のとおり、夏期休暇・会議がおこなわれるため、組合事務所を閉めさせていただきます。

- 8月12日(金) 夏季休暇
- 9月1日(木) 書記局会議



第513号

発行所
東京土建一般労働組合
小金井国分寺支部
国分寺市東恋ヶ窪 2-36-32
電話 042-324-5940
発行責任者
高橋 勇一



小金井市役所から小金井公園まで行進しました

【東小分会・朝倉法明記】
7月24日、日曜日午後3時30分、小金井市役所に70人が集まった。支部からは11人。国④・平松ベア、小西・大竹ベア、前原・橋本片桐ファミリー、国③の南雲組織部員は清瀬市から直接参加された。行進の出発に先立ち、小金井西岡市長から、後世に核のない平和な世界を残す連帯と激励の挨拶を頂きました。次に、東京土建を代表して広島世界大会に参加する遠藤あやめ(国③分会)さんか

子供の頃から興味がある。平和活動にワクワクしています

日本国憲法は世界の宝 平和を守るために政治に目を向けていこう！

【国③分会・古谷文夫記】
7月23日(土)の国分寺平和行進に参加しました。コロナ禍のもと、デモをやめて駅前での宣伝です。主催者の平和への訴えと国分寺市長のメッセージが紹介され、各団体と個人から、広島での思いや体験談が話されました。また、三多摩青年合唱団も歌声で平和のアピールをしました。特に高校生の発言では「平和に対する意見の違いは当たり前前、沢山の声を聞いて、多くの人が暮らしやすい、



国分寺駅南口で、チンドン屋さんと一緒に



立川税民協総会で、岡田税理士の記念講演

【小西分会・渡邊信義記】
7月27日(水)、立川女性総合センターで立川税民協による第53期定期総会が開催されました。新型コロナウイルスのため、総勢45人(支部から5人の参加でした。いつも活気があって凄い！岡田税理士による講演は「インボイス制度の導入戦略と中止・延期」という議題で、やはり内容が濃く分かりや

【支部組織部長・朝倉法明記】
組合では国や東京都の支援金の申請相談など困っている仲間へ寄り添い、「何か困ったことがあったら東京土建へ」の声掛けを広めました。今度はインボイス制度の問題で「訪問した留守だった」

【支部組織部長・朝倉法明記】
組合では国や東京都の支援金の申請相談など困っている仲間へ寄り添い、「何か困ったことがあったら東京土建へ」の声掛けを広めました。今度はインボイス制度の問題で「訪問した留守だった」

7月になって梅雨明けしているのにも拘らず、雨が続き日が多く外仕事がいよいよ秋の拡大運動も、またコロナが渦巻いてきそう。感染対策をおこない、各人の体調に配慮した、各人の活動をお願ひ致します。

朝顔

の 篠ちゃん 散歩

～気候変動による豪雨災害のないまちに～

【国①分会・篠崎弘記】 昨年「野川整備計画の陳情署名」を組合で取り組んだことを思い出しながら歩いてみました。スタートは日立中央研究所南側遊歩道の野川源流地点で、ここが野川の始まりです。この坂の周辺は国分寺屋線（通称ハケ）の一部で、湧き水がいたるところに見られ水が集まって野川となつたと言われます。ここから東には「花沢橋」そして中央線が走ります。その先の脇道を下りて急な石段を抜けていき「押切橋」を渡り野川沿いに下つていきます。野川にはもう一つの源流の川があり「お鷹の道」を流れてきた元町用水が合流します。その合流点が「不動橋」です。不動橋の北側には不

動明王碑があり、村内に疫病や災厄が入り込むのを防ぐ碑と伝えられています。今でも花や絵馬が飾られており、地域の方々に大切にされているそうです。そして、「里塚から「もみじ橋」「丸山橋」と細い道を進んでいくと、チョット田舎っぽい風景を眺めることができます。「長合戸橋」に出て東に歩くと「鞍尾根橋」があり、整備計画はこの橋から最上流部区間（1750m）の護岸整備の早期実施を求めています。最近の気候変動による豪雨災害から見ても護岸整備は重要と感じました。ところで、まったく別の話ですが、同じ野川に流れる川の景色をふと見たとき、のどかで美しい小川みたいな小金井を眺める風



日立中研から流れ出した湧水（中央線下のトンネルから下流へ）

2020年4月発生分より、残業代の請求時効が2年から3年、法律上は5年と延長されました。これにより、日々請求時効の期間が延びて、来年4月からは過去3年分の請求が可能となります。関心の高まりの中で、残業代についての弊所への相談も増えていきます。内容は、労働時間の考え方、計算の仕方など実務的なものの他に「社員から残業代を貰っていないと言われた」「会社が残業代を払ってくれない」など個別紛争に関わるものがあります。特徴としては、労働者側は、ネット検索等で事前に



社会保険労務士による
無料相談会をご利用ください
《日時》
8月24日(水)午後1時頃～(要予約)
※相談会は偶数月を予定



事業所セミナーで説明する北村社労士

残業時間の規制強化の対応 2年後の適用見据え、建設業でも働き方見直しへ

情報収集をしていること、

一方、使用者側は労働時間の管理などの対応ができていないことです。1日1時間の残業でも、3年で一人100万円を超える額になり、予定外の支出で資金繰りに影響することにもなりかねません。

紛争になる前に、①毎日の労働時間を記録すること
②適切に残業代を計算し、毎月支払うことなどの対策を取っておきましょう。
(ブレイスF.P.社会保険労務士事務所・北村博昭)



支部事務所3階、ZOOMで参加した仲間

【国④分会・小阪昌義記】 和と憲法を守る学習決起集会に参加しました。本部で開催されたフリージャーナリストの布施祐仁氏と琉球新報記者の明真南人（あきら まなと）氏による対談をZOOMにて遠隔視聴するかたち。内容は「参院選後の情勢

を知り、平和と憲法を守るにはどうすべきか」という論点で話は進められました。一つ目のテーマは、ロシアのウクライナ侵攻以降、国内で自衛隊や米軍に対しての容認論が盛んになってきている現状について、沖縄の今を具体例にして南西諸島で想定される台湾有事の際の県民意識についての解説を聞きました。今や自衛隊は「国民を守る組織」ではなく「国家を守る

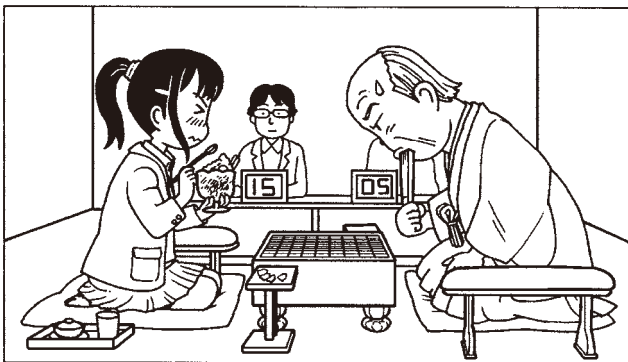
そして三つ目は、世論調査で多数が賛成している軍事費増計画についての分析。これも脅威国への抑止力としての増額ですが、そもそも「正規軍のない国」が倍増により世界第三位の軍事大国となる矛盾。この原資は社保費や更なる消費増税からの転用となります。どの話も、とても興味深く、新しい知識を得る良い機会となりました。

今は、いまだ出口が見えないコロナの状況、長期化

平和と憲法を守るにはどうすべきか

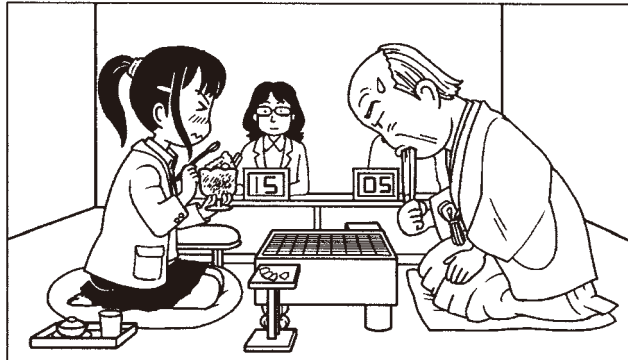
数の論理で押し切られてはならない・運動づくりを！

するウクライナ情勢、憲法改正、防衛費増強、安倍氏の死去に伴う政局問題、経済・インフレ対策に、統一教会問題が加わり議論が多様化を極めていきます。それぞれの勢力は国益を旗印に、今後一気に世論を意図的に誘導しようとするでしょう。つまり、それぞれの意見がかみ合わないまま、数の論理で押し切られてしまうことが大変懸念されます。そんな状況であるからこそ、平和の最大の限の外交努力を強く希望しつつ、今いちど民主主義を守る努力が何よりも必要だということ肝に銘じた時間になりました。



7つのマチガイ

【問題】上の絵と下の絵では7つのマチガイがあります！どこでしょう？（作・野上和彦）



7月号まちがいさがしの回答 ①左下の魚の口 ②ポット先端の旗の番号 ③ポットの床の位置 ④中央の人の胸のリボン ⑤中央の人が持つ左のオールの長さ ⑥ポットの横の波しぶき ⑦最後尾の水鳥の位置
◇7月号間違いがしの当選者：古本金雄さん(国④) ※当選者には粗品を郵送します。